

愛知の将来の方向性の実現に向けた論点について

産業経済分野

将来の方向性	将来の方向性の実現に向けた論点
<p>これまでのモノづくりの集積を生かし、進化する製造業においても優位な地位を築き、AI、ロボット等の第4次産業革命の変革の波に乗り、世界有数の「国際イノベーション都市」として日本経済をけん引していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次産業革命（AI、ロボット、IoT、5G、ビッグデータ等）を生かし、本県産業がどのように進化していくべきかについて ・CASEやMaaSといった自動車産業の変革に対して行うべき取組について ・第4次産業革命や自動車産業の変革に直面する中小企業に必要な視点、取組や、県が中小企業に対して行うべき取組について ・デジタル人材など、次世代産業を担う人材を育成するために行うべき取組について ・シェアリングエコノミーのさらなる進展を見据えて行うべき取組について ・第4次産業革命を活用して、サービス産業の生産性を向上させていく取組について ・リニア中央新幹線の東京・名古屋間の開業後、10年程度の期間、名古屋駅が西の終点となることを生かした、経済・産業拠点性の向上や、経済的後背圏の拡大を図るための取組について など ・本県のイノベーション拠点としての中枢性を高めるために行うべき取組について ・スタートアップ企業を次々と生み出していくための環境づくりについて ・オープンイノベーションを活性化していくために必要となる取組について など ・技術的失業への対応として、最新の知識・スキルの獲得に向けたリカレント教育の環境づくりについて ・人口減少社会への対応として、労働力を維持していくために必要となる取組について ・「一人複数役社会」を支える多様な働き方の推進について など
<p>国内外の高度人材・グローバル人材が活発に交流し、世界のなかで成長する国や地域との連携・協力関係を築いていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな競争が激化する中で、愛知県に人や企業を呼び寄せるとともに、県内への投資を促すために必要となる取組について ・多極化しながら拡大するアジア市場の活力を本県に取り込んでいくために必要となる取組について ・国内外の観光客を呼び込み、観光消費額を拡大し、観光産業を活性化するために必要となる取組について ・異文化対応能力が高く、グローバルな世界で活躍できる人材を育成するために必要となる取組について ・海外から多くの高度人材や留学生を呼び込み、愛知県に定着し、活躍してもらうために必要となる取組について など
<p>農林水産業の担い手を確保しつつ、大規模化・スマート化を進め、生産性を高めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業の大規模化・スマート化の推進について ・農林水産物の高付加価値化や6次産業化、拡大するアジア市場を獲得していくために必要となる取組について ・農林水産業に多様な担い手の参入を促すための取組について など

県民生活分野

将来の方向性	将来の方向性の実現に向けた論点
<p>この地域に愛着と誇りを持ち、この地域で働き、出会い、子どもを産み育て、歳をとってからも住み続けたいと考える人を増やしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この地域に愛着と誇りを持ってもらえるための取組について ・若年女性の流入・定着を促進するための地域の魅力向上の取組について ・外国人に選択してもらい、住み続けてもらえる取組について など ・50歳時未婚割合が増加する中、希望する者が結婚や出産ができる環境づくりに向けた取組について ・共働き世帯が主流となる中で、誰もが安心して、子育てしながら、働き続けられるための取組について など ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるための取組について など
<p>国籍、性別、障害などにより生きづらさを感じることがなく、人生のどの時点でもやり直しができて、多様な生き方を県民が自由に選択できる社会を作っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・性や人種、障害、価値観などの多様性を認め合う社会づくりに向けた取組について ・学校や地域における外国人に対する包括的な支援について ・身近な地域や学校で障害者が安心して生活できる環境づくりに向けた取組について など ・AIやロボットに代替されない人間としての強みを伸ばす教育について ・画一的ではなく、個々の能力や適性に応じて個別最適化された教育や多様な学び方について ・生産年齢人口の減少に伴い教員の確保が難しくなる中、質の高い教育を提供していく取組について ・単身世帯が増加し、社会的孤立の懸念が高まる中、社会的、精神的な自立を促す教育について ・「人生100年時代」における各ライフステージに応じた学び直しについて ・就職氷河期世代を始め、人生の再チャレンジをする人の職業訓練などの取組について など ・子どもが生まれ育った環境に左右されず成長することができる環境づくりについて ・今後、拡大が見込まれる世帯間格差への対応について など
<p>人生100年時代を迎えるなか、地域でお互いが支え合い、意欲と能力に応じ、生涯にわたって活躍出来る社会をつくっていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命を延伸するための取組について ・高齢者の能力に応じて、多方面（就労、介護、子育て、ボランティアなど）で活躍してもらうための取組について ・障害者の活躍の場を増やしていくための取組（就労、文化芸術、スポーツなど）について など ・支援が必要な全ての方（障害者、高齢者、生活困窮者、子ども・子育て家庭や、各分野・制度の狭間にいる方）に対する包括的な支援について ・人口が減少し、地域の担い手が不足する中、外国人や障害者を含む地域住民や地域の多様な主体、さらには地域外の関係人口までも含めて、「我が事」として、地域に参画してもらうための取組について など

県土基盤分野

将来の方向性	将来の方向性の実現に向けた論点
<p>後背圏を拡大しつつ、効率的で力強い圏域を形成し、モノづくり、住みやすさ、観光資源など愛知ならではの強みを磨き、スーパー・メガリージョンのセンターとして、3大都市圏で連携して、世界中から人・モノ・カネ・情報が集まる大都市圏をつくっていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線の東京・名古屋間の開業後、10年程度の期間、名古屋駅が西の終点となることを生かし、本圏域の拠点性の向上や後背圏の拡大を図るために必要な取組について ・リニア中央新幹線の全線開業後、本圏域がスーパー・メガリージョンのセンターとして世界の中で存在感を発揮していくために担うべき役割、首都圏・関西圏との機能分担・連携方策について ・北陸新幹線の整備が進む北陸圏、リニア中間駅、リニア中央新幹線の開業後に新たな活用が期待される東海道新幹線の沿線などとの広域連携について ・効率的な物流を支え、産業の生産性の向上に資する、陸・海・空の交通基盤の整備・活用について など ・幅広い世代から（特に若年女性から）、就業地、居住地として選ばれるまちづくりについて ・本圏域の住みやすさをさらに高めていくために必要な取組について など ・増加する訪日外国人観光客の取り込みなど国内外から人を呼び込み、滞在してもらえる地域づくりについて ・多様化する外国人観光客が快適に過ごせる環境整備について ・観光面におけるリニア中央新幹線の開業効果の活用について ・「Aichi Sky Expo」、ジブリパーク、アジア競技大会などの国際的な施設や吸引力のあるイベントの活用について など
<p>老朽化する社会インフラを適切に維持管理しつつ、都市の「コンパクト+ネットワーク化」や地域のバランスある発展を図り、大規模地震など自然災害に強く、内外から安心・信頼される地域をつくっていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの都市が自動車中心に形成されてきた本県における、超高齢化社会を見据えた集約型都市の実現方策について ・人口減少に伴い増加する空き家、空き地の活用や、高齢化が進むニュータウンの再生等について ・都心部や人口減少・高齢化地域など、地域の実情に合わせた公共交通の整備・確保について ・名古屋への過度な集中を防ぎ、周辺都市の活力を高め、バランスのよい圏域構造を維持・創造するために必要な方策について など ・新技術の活用など社会インフラの効率的な維持管理について ・人口減少下における戦略的な社会インフラの維持管理・更新について など ・南海トラフ地震、激甚化する風水害等に対し、ハード、ソフト両面での防災・減災対策について ・人口減少や高齢化、外国人住民の増加等が進む中での地域の防災力の維持・向上について ・被災後の速やかな復興について など
<p>再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギー自給率の高い地域をつくっていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的なエネルギー自給と低炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー導入の進め方について ・自然環境・生物多様性の保全・回復について ・持続可能な社会を担う人材の育成について など